

次期栃木県教育振興基本計画策定における「こどもの意見聴取」の結果について

令和7（2025）年5月21日
栃木県教育委員会

1 目的

児童生徒等から意見を聴取することで、次期計画の策定の参考とする。

（令和5年4月施行の「こども基本法」に基づき、「こども施策に対するこども等の意見の反映」として実施）

2 聴取方法

保健福祉部こども政策課が実施する「こどもモニター」事業を活用する。

【参考】「こどもモニター」の概要

- ・調査対象：小、中、高～22歳、保護者 計1,000名程度
- ・調査目的：「こども施策」に関するアンケートを実施し、今後の施策に反映する。
- ・根拠法令：こども基本法第11条

3 回答数

（単位：人、％）

	小学生	中学生	高校生・若者	保護者	合計
調査対象	395	163	185	257	1,000
回答数 (回答率)	332 (84.1)	134 (82.2)	104 (56.2)	234 (91.1)	804 (80.4)

【内 訳】

属 性	小学校						中学校			高校・若者（18～22歳）				保 護 者
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	若者	
回答数	51	60	56	66	56	43	61	47	26	23	37	11	33	234

4 結 果【質問：学校に対して、あなたが特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか（3つまで選択）】 (%)

選択肢		小学生	中学生	高校生・若者	保護者	合計
安全・安心	学校が安全・安心な場所になり、設備などが整い、過ごしやすくなること	48.8	50.0	54.8	67.9	55.3
確かな学力	わかりやすい授業が受けられること	42.5	60.4	48.1	35.5	44.2
主体的な学び	自分が興味をもったことを何でも学ぶことができること	33.1	38.1	41.3	29.9	34.1
教育相談	悩んでいるときやつらいときに助けてくれる先生や友達がいること	29.2	23.9	23.1	47.9	33.0
体験学習	自然体験や職業体験など、体験活動の時間がたくさんあること	35.8	26.9	35.6	28.6	32.2
豊かな心	他の人への思いやりの気持ちを育ててくれること	20.5	19.4	22.1	35.0	24.8
ICT利活用	タブレットやパソコンなどを使って学べる機会が多いこと	16.9	20.9	14.4	6.4	14.2
健やかな体	運動できる時間がたくさんあること	18.1	14.2	11.5	8.1	13.7
地域連携	地域の人などと学校が協力して、いろいろな人と交流しながら学べること	9.3	2.2	15.4	14.5	10.4
文化・芸術	音楽や絵など芸術に触れる時間がたくさんあること	10.8	9.7	6.7	8.5	9.5
ふるさと学習	とちぎの自然や文化、歴史などについてたくさん知ることができること	9.3	5.2	4.8	6.4	7.2
その他（記述）		2.4	3.0	1.0	1.7	2.1

- 児童生徒、保護者とも「学校が安全・安心して過ごせる場所となる」が最も高い（児童生徒：5割程度、保護者：7割弱）
- 児童生徒は「わかりやすい授業」「興味のあることを学べること」「体験活動」も高い（3～6割程度）
- 保護者は「わかりやすい授業」「悩んでいる時に助けてくれる先生や友達の存在」「思いやりの気持ちを育むこと」も高い。（3～5割程度）

⇒ 安全・安心して過ごせる学校づくり、授業改善、体験活動の充実、温かい人間関係を築く機会の充実に期待が高い。